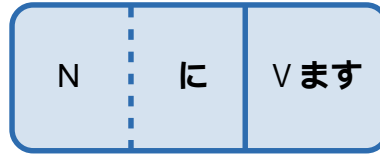


助 - 26

に(対象)



N : V で表す動作の向けられる人

基 本

例 文

- ① やま だ せんせい た なか ほん か 山田先生は田中さんに本を貸しました。
 ② き むら と も か ぞく しゃしん み 木村さんは友だちに家族の写真を見せ
 ました。

- ③ せんせい わた A: 先生にこれを渡してください。
 B: はい。
 ④ た なか でんわ A: だれが田中さんに電話をかけますか。
 B: わたしがかけます。

解 説

A. 「に」は、Nが動作・行為の向けられる対象であることを示す。(例文①②③④)

先生へ

「に」は助詞。

「に(対象)」といっしょに使う日本語能力試験4級相当の動詞は以下の通り。

う でんわ 売る、電話をかける、でんわ 電話をする、あ おし 会う、教える、かえ わた はな み 返す、渡す、話す、見せる、か 貸す、
たの てがみ だ 頼む、手紙を出す、てがみ か い 手紙を書く、言う

「会う」は、相手を示すとき「に」と「と」どちらも使える。

例 えき と も あ 駅で友だちに会いました。(「会う」相手がだれかを示す。)

えき と も あ 駅で友だちと会いました。(「会う」という行為をいっしょにする相手を示す。)

【関連項目】

- 助-02 に(時)
- 助-07 に(場所)
- 助-15 に(目的)
- 助-18 に(基準)
- 助-21 に(帰着点)

【「れんしゅう編」の練習】

- 10-5 手紙をください